

岩舟地域包括支援センター 担当

日 時： 令和 7 年 5 月 2 1 日（水）午後 1 時 30 分～2 時 00 分

開催方法： 栃木市役所大平総合支所 第 3 会議室

事 例 数： 1 ケース

参加者数： 1 2 名

事例提供者 1 名、助言者 6 名、サービス事業者 2 名

包括職員 2 名、傍聴者 1 名

筋力低下があり認知症の妻と二人暮らしの89歳男性

〈目標〉1日:1日 10分程度ウォーキングマシーンで歩く。

1年:歩行が安定して今まで通り自宅で生活していきたい。

利用サービス:通所リハビリテーション、福祉用具貸与

〈生活全般の解決すべき課題〉

- ・ 下肢筋力低下があり歩行状態を安定させたい。
- ・ 家族以外の交流が減少しておりコミュニケーションが図れる機会を作る。
- ・ 尿閉によりバルーン留置中であり症状の変化に気を付けたい。

〈助言者からの助言内容〉

- ・ 通所リハビリテーション利用時や病院受診時に健康状態を確認する。
- ・ 糖尿病の症状悪化を防ぐためにも服薬状況を確認する。
- ・ 明瞭な発語を獲得するためにも口腔周囲の訓練や筋力トレーニングを行う。
- ・ 円背が更に進み歩行状態が不安定になることがあるため、背中の上り下り訓練を実施する。
- ・ 認知症の方にとって料理は脳の活性化につながるため、妻の料理は続けてもらいながら長女と協力して食事内容を検討する。
- ・ 趣味の家庭菜園を通じた外出機会の提案や傾聴ボランティアとの交流を提案する。



定期的な健康管理と運動の継続、バランスのとれた食事内容の検討や趣味を生かした社会参加により生活の活性化を図る。

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

- ・ 妻は認知症の診断を受けているが夫婦として外出の機会も減っており、認知症への理解促進が必要である。
- ・ 老夫婦世帯であり、自宅に物が多く火災の危険性も考えられるため、災害時の対応が課題である。